

2012年度地域文化演習・地域文化調査法・地域調査入門・地域環境演習・地域環境調査法のテーマ・内容・調査地域一覧（2012年3月7日）

地域文化演習（3年選択必修）

教員名	記号	演習テーマ	演習内容等		曜・時限
佐藤哲夫	E	観光研究からの地域研究	タイを例に、観光に焦点を当てて、海外地域の研究法を学ぶ。前半は観光学とタイについての参考文献の講読を並行して進める。後半はタイの観光について各参加者がテーマを設定し、文献講読・地図の利用・統計分析によって研究し、レポートにまとめる。		金・5
高橋健太郎	F	農山村の生活と産業	農山村地域への理解を深め、また地域調査の手法を学ぶために、長野県栄村にて4泊5日で調査合宿を行ない、報告書をまとめる。主な調査テーマは、農作物のブランド化、都市・農村交流、農村への移住、震災からの復興など。「村落地理学」を履修していない人は、今年度に履修のこと。		月・3

地域文化調査法（3年選択必修）

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	曜・時限
櫻井明久	A	地誌的調査法（農村と都市）	世田谷・中国山地周辺	9月下旬～10月初旬	前期には世田谷（大学周辺）でグループごとに土地利用・景観調査を試み、後期には、訓練成果をもとに、中国山地周辺の地方都市とその周辺農村で現地調査を実施し、全体として調査方法を実践的に学ぶ。	金・2
須山 聡	B	奄美大島の地域性	鹿児島県奄美大島	6月25～30日	グループ単位で1つのテーマについて地域調査を行い、報告書を作成する。近年のテーマは体験型観光・サンゴ礁保全・宿泊業・共同売店・2010年豪雨災害・鶏飯・シマウタ・名瀬の都市的発展・ダイビングなど。	水・4
土'谷敏治	C	公共交通を中心とした都市の問題	鹿児島市を予定している	10月中旬を予定	まず、文献講読を行う。その後、現地調査のテーマを決定し、調査の準備、調査計画作成、（現地調査）、調査結果のまとめを行い、調査報告書を作成する。現地調査は、1人でも、4人程度までのグループで行ってもよい。	火・5
橋詰直道	D	地方都市の生活とまちづくり	長崎市	6月30日～7月3日または10月13日～16日（3泊4日）	長崎市を事例に坂の街に暮らす市民の生活とまちづくりについて学ぶ。坂の町の景観と観光、坂の街での生活、坂の街のまちづくり、などの班に分けて調査し、報告書としてまとめる。6月までは調査地に関わる文献調査と文献レビュー発表、現地調査期間中は毎夜レポート、終了後まとめレポート提出と発表、その後は報告書用地図、グラフの作成と分析を含めて最終まとめの原稿づくり（5回以上書き直して提出してもらう）。12月報告書完成と班別発表を行う。この他に東京日帰り巡検も2回行うので、積極的に参加する者に限る。	火・5

地域調査入門（2, 3, 4年選択）両専攻共通

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	曜・時限
小田匡保	A	弘前市の人文地理（農業・地場産業・商業・観光・墓地など）	青森県弘前市	6月上旬（3泊4日）	弘前市に関する文献の講読、統計の分析、地図の読み取りなどを行ない、自分（個人またはグループ）で調査テーマを決めて、現地調査（聞き取り・観察など）の計画を立てる。現地調査後は報告書を作成する。	前期 水・5
高橋健太郎	B	都市の農的空間	東京内部と郊外	5～6月に2回日帰り	都市の農地や農業の変化、役割について、地形図や文献で事前学習の後、2回日帰り調査をして、土地利用図や調査レポートを作成。調査先の都合により人数制限あり。調査参加のみでなく、事前学習とレポート作成が必須。	前期 火・4
須山 聡	D	朝鮮通信使の足跡	瀬戸内海沿岸地域	11月初旬	景観や土地利用の観察法、地域資料の収集など、地域調査の基礎を修得する。具体的には朝鮮通信使の来訪ルートをたどり、牛窓（岡山県瀬戸内市）・鞆（広島県福山市）・下蒲刈島（広島県呉市）を訪れる。	後期 水・2

地域環境演習（3年選択必修）

教員名	記号	演習テーマ	演習内容等		曜・時限
田中 靖	E	火山と地震	前期は火山、後期は地震をテーマに文献調査とフィールドワークを行い、研究結果を報告する。夏休み中に伊豆大島で、10月下旬頃に糸魚川―静岡構造線または三陸海岸で小巡検（一泊二日）を行う予定。		水・3

地域環境調査法（3年選択必修）

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	曜・時限
江口 卓	B	屋久島の気候と環境	鹿児島県屋久島	10月中・下旬	前半は気象庁などのデータをもとに屋久島の気候の特性について解析を行う。後半は、屋久島の気候と環境に関するフィールドワークを行い、調査結果を報告書にまとめる。調査期間中、1日は全員で黒味岳（約1800m）に登る予定です。	水・4
高木正博	D	扇状地の測水調査／水利用／河川改修	琵琶湖北西の高島市針江地区周辺	7月上旬を予定	当地域は住民が日常生活に地下水を巧みに利用している日本でも数少ない町。地域ぐるみで行っている水利用形態に注目し、都市では失われた日常的な水利用の知恵を明らかにしたい。河川・地下水などの水質調査や天井川の河川改修についても調査予定。	金・5
新任の先生	F	火山地域の水文環境	三瓶山周辺地域	9下旬～11月中旬に3泊4日	島根県の中央部に位置する三瓶山周辺地域において、湧水・地下水・河川水を対象に採水や流量観測などの水文調査を実施する。現地調査により得られた水質や流量などのデータから、対象地域の水文環境について総合的に検討を行い、レポートもしくは報告書としてまとめる。	火・3

*演習と調査法、地域調査入門と演習または調査法を履修することも可能です。希望人数によっては調整することもあります。